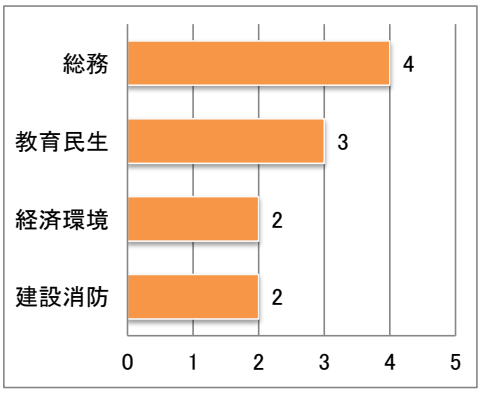
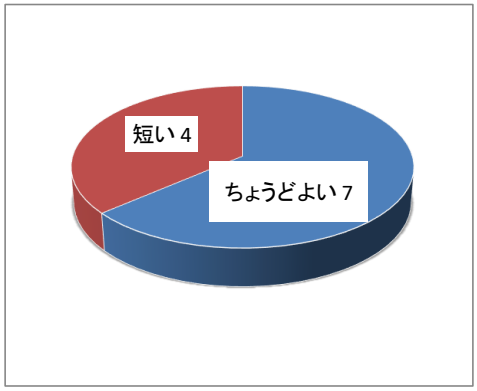
令和７年度高松第一高等学校生徒との意見交換会
アンケート集計結果

参加人数：13人（アンケート提出人数11人（紙３人、Web８人））

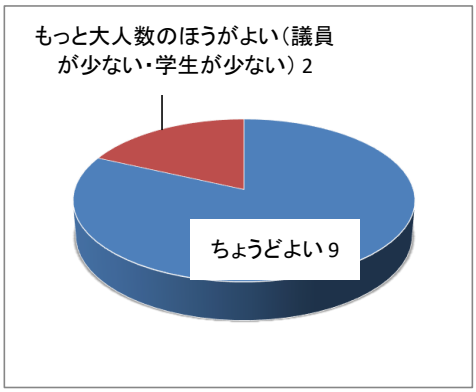
問１　参加グループ（委員会別）（人）



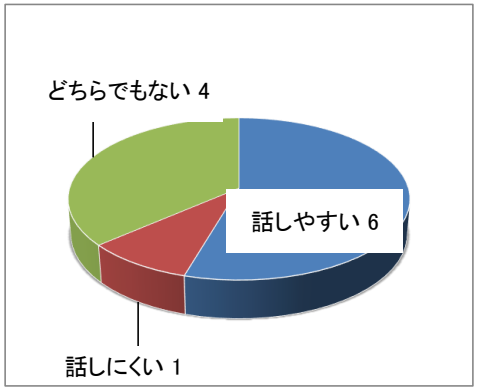
問２　意見交換の時間　（人）



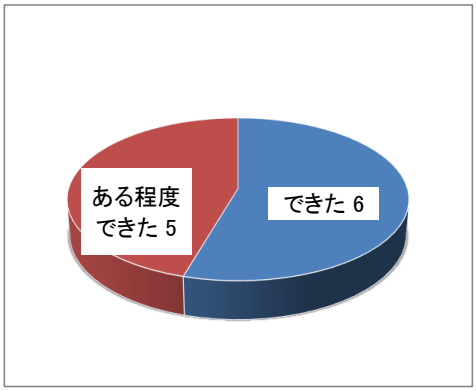
問３　参加人数　（人）



問４　意見交換会のテーマ　（人）

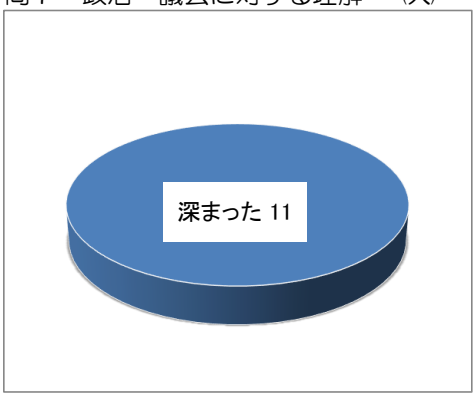


問５　発言　（人）



問６　満足度　（人）

問７　政治・議会に対する理解　（人）



問8　市政について、どのような関心があるか。どのようなことを議論したいか。
・どこまでのことが市の権限でできるのか、産業面で具体的に何をしているのかが気になります。 ・今回参加した介護や高齢者との関わりについての話は、とても話しやすくもあったし、話していく中でこんなことがしたい、これがあればいいというアイデアがどんどん湧き、とても楽しく、さらに関心のあるものになりました。他には子供に関することにも興味があります。十分な学習・やりたいことへの環境作りや、ヤングケアラーへの対応などについても議論してみたいです。 ・議員さんがどのようなことを目標に頑張っているのか、真っ先に解決しなければならないと考えていることは何かについて関心がある。海外の方々を高松に呼び込んで働いてもらうべきか。 高松シンボルタワーの活用の仕方。 ・最低賃金について、少子化の対策について ・国勢調査でも使われているネット投票ができているのに選挙で使われない理由。選挙した人にクーポン券を配ると地域も活発になって、選挙する人が増えて良いと思った。 ・インフラ整備、社会保障 ・少子高齢化について ・町の再開発に興味があります。あまりにぎわっていない商店街や町の活用の仕方やそのイメージについて議論したいです。

問9　感想・議会に対する意見等
・思っていた以上に議員さんたちの雰囲気が明るく、自分の意見が尊重される場で素敵だなと感じました ・これまで、議会というものは堅苦しいものだと思っていたけど、実際に議員と話して、議員の人たちも市民の一員で自分たちと同じ考え方を持っているということがわかりました。これからも、理解を深めていくために意見交換会は続けていってほしいです。 ・難しい内容の話を予想していたけど、話しやすいように議員さんが話を振ってくださって、楽しく活動できました。 ・このような意見交換の場を設けてくださりありがとうございました。実際に議員の方と話をするのは初めてで、どんな会なのだろうと期待がありました。始めてみると、どの方も強い想い・考えを持っていらして、かつ私達の話を真剣に聞いて、完璧な切り返しをしてくださるところを見て、とても尊敬しました。司会を務めてくださった議員さんは、私の言う言葉ひとつひとつを拾って、さらなる話へとスムーズに繋げてくださいました。最後の全体へのまとめも、驚くほど素晴らしく、あんな風に話すにはどうすればいいのか、知りたいです。二人の議員さんとは、私の家族とも関わりがあり、お二人の存在が、私を安心されてくださいました。明るい雰囲気のまま、的確な話題を出して会を進行させ、さらに雑談も含めるあのテクニックがすごいと思いました。私も身につけたいです。議員皆さんから出る質問はどれも核心をつくようなもので、ハッとさせられる視点ばかりでした。こういった視点があるからこそ、より現実的に正確に私達の要望が政策に繋がっているのだと感じました。2回を通して、心からもっと話がしたいと思えました。またどこかでお話ができたら、嬉しく思います。これからも私達の高松市をよろしくお願いします。本当にありがとうございました。 ・自分のこれからの人生に役立つ議員さんのお話しを直接聞くことができてとてもいい経験になった。 香川から世界へと進出している企業がどのような産業をしているのか、まず高松の魅力とは何なのか、ということを改めて考えることができ地元への関心が高まった。 ・市民としての意見を伝えるとても貴重な機会をいただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。今回の意見交換会を通して思ったことは、自分たちが知らないことばかりではなく、議員の方たちが知らない事も沢山あると言うことです。だからこそ、市民と積極的に交流する機会を設けるべきだと思いました。 ・今日の意見交換会でたくさんのことを学べた。初めは、国勢調査と同じようにネット投票にすればいいのにと思っていたが国勢調査よりも今後の未来のためなのでかなり慎重に考える必要があった。僕が前から思っていたことで「選挙をした人にクーポン券を配る」という意見も議員の方々に話せた。話した中で北海道でも同じような取り組みが行われており、驚いた。また議員さんからの意見としては、昔までは選挙権を巡っての運動が行われていたのに対してそのようなことをするのは選挙権を軽く扱ってしまっていると捉えられると言った声もあった。 ・議員の方がとても優しかったので話しやすかった。 ・最後の各グループのまとめを議員の方がお話ししていましたが、少し長かったです。 ・私たちの話を丁寧に聞いてくださり、うれしかったです。市が行っている取り組みの中でも私が知らないことがまだあって、高松のことを深く知ることができたと思います。問題解決のための画期的なアイデアを出すことは難しかったですが、私たちの意見を市政にとり入れていただければ幸いです。

問10　高松市が住みやすい魅力ある都市となるためには、どのようなまちづくりをしていけばよいか。
・今回のような若い人の意見を取り入れる機会を増やして欲しい。 ・経済が回っていて、お金を自ら使いたくなるような街 ・人口減少社会なので、コンパクトシティの考え方に基づいてまちづくりをするのがいいと思います。 ・高齢者にも若年層にも同じようにサービスを提供する。 ・幅広い層から多くの意見を集め、少しでも広く期待に沿ったものを、ぜひ進めていただきたいです。上辺だけでなく、高松の内側から変わっていけるように、積極的な政策をよろしくお願いいたします。 ・高松市はコンパクトシティーに似ている傾向があると思うので、それを活かせるまちづくりができたらいいと思う。あと、家賃や物価が東京と比べて安価なのと県内の交通アクセスがいいところから、BPO企業をもっと呼び込むべきだと思う。その時に市民税を下げることで一時的に注目が集まり移住者は増えると思う。少子高齢化に伴い、これからご高齢の方々が増えることが目に見えてわかっているので、地域の景観を活かした老人ホームや介護企業を増やすべきたと思う。もしくは、そのような企業が開業しやすくなるような手当を行うなどしたら税収は良くなると思う。新幹線ができて欲しい(個人的意見)アウトレットパークのような商業施設ができてほしい(個人的意見) ・子育て支援をより手厚くする ・選挙に関われる人も選挙へのお金が限られている中でこれから何ができていくのか考えるのが重要だと思った。また選挙権のない18歳未満の人々にもたくさんの声があると思う、なので高齢者が多くなる時代になり高齢者の意見が反映されやすくなるなかでも、18歳未満の若い世代も世論として反映されやすいような仕組みにしていきたい。 ・誰でも不自由なく生きられるまちづくり。商店街の活性化。 ・最近香川のうどんの美味しさを改めて感じたので、うどんの良さを大切にしていってほしいなと思います。 ・高松市に住む人々が、高松市に関するイベントや事件、政治などを知っている状態が魅力ある都市だと思います。そのためには、市側が情報網を用意すること(宣伝、公式LINEの活用)も必要ですが、住民が情報を知ろうとする態度で生活することも十分に必要です。だから、これから高松市の情報に気持ちを向けて、友人や家族にその話をしたいと思います。貴重なお時間を割いてくださりありがとうございました。来年もよろしくお願いします。